

日本共産党 枚方市議団 市議会だより

2012年 春号 3月議会報告
発行:日本共産党枚方市会議員団
枚方市大垣内町2-1-20
電話:841-7243 FAX:845-4141

東日本大震災から1年が経ちました。安心・安全なまち、くらし・福祉
最優先の枚方市を実現するために取り組んでまいりました。

影響額
338億円

消費税増税 ストップを

「こだけ生活と経営が苦しいのに消費税増税、なんでやねん!」と、国の
消費税増税の動きに市民のみなさんの怒りの声広がっています。

消費税の引き上げは市民
の暮らしや営業に大打撃を与
えます。議会の中で消費税の
影響額を明らかにし、市長に
反対の立場をとるよう求めて
います。

市内事業所数の推移			
	平成8年	平成13年	平成18年
事業所数	11,391	10,751	10,235

平成9年に消費税が5%になり、1,156事業所が減少 事業所・企業統計調査より

国の悪政からくらし守る市政を

減る年金、増える医療・介護の保険料

政府は年金を4月から0.3%、さらに10月から0.9%(3年間
で2.5%)引き下げる予定です。例えば、年金収入が200万円の
75歳以上の高齢者2人暮らし世帯の場合、今年度だけでも年金
が1万5千円減り、翌年度はさらに減額の見込みです。また、後
期高齢者医療と介護保険料が1万3718円増え、合計で2万
8718円の負担増になります。

私たちは、介護保険料・国保料の引き下げ、減免制度を充実し、
市として「市民のくらしを守る」責任を果たすよう求めています。

年金収入200万円の夫婦二人世帯で
後期高齢者医療加入(妻:無年金)の場合

- 介護保険料 **7,300円の増加**
- 後期高齢者医療保険料 **6,418円の増加**
- 年金減額の影響 **15,000円の減額**

合計28,718円の収入減に

わたしたちの提案

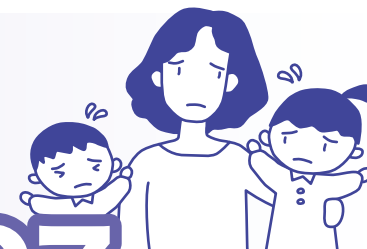
**健康でイキイキと
くらせるまちに**

市民が健康で元気にくらし、国民健康保険料、介護保険料を
引き下げ、医療費を軽減するために公共施設など、健康体操や
身近に趣味や文化を楽しむことができる場と事業の実施を求
めています。

公立幼稚園と保育所つぶして

幼児教育と公的保育の 責任放棄へ加速

保育所待機児数 **707人** (3月1日現在)



緊急事態

認可保育所の増設を!

枚方市は既存保育所の定員増と公立保育所の民営化による定員拡
大で待機児を解消する方針です。

しかし、公立保育所を民営化しても30名程度の定員増しかできず、
これでは待機児を解消することはできません。

公立保育所民営化計画は撤回し、認可保育所を増やして待機児解消
をと求めています。



ママたちの声

枚方に引っ越してきたの
に保育所に入れない。もっと
子育てを応援して

保育所民営化の実施状況

2004年度	宇山保育所
2012年度	さだ保育所
2013年度	小倉保育所
民営化中期計画	
2014年度	宮之阪保育所
2015年度	中宮保育所
2015年度	北牧野保育所

公立幼稚園をなくさないで!

楠葉南・殿二・桜丘・津田幼稚園の 廃園方針発表

市は11ある公立幼稚園のうち4園を廃止する条例を6月議会
に提案し、2015年4月に廃園を予定しています。

(2013年秋の4歳児募集は実施せず、2014年度は5歳児の
みの就園)

党議員団は「保護者や地域の声を聞かずに一方的に廃園方針を
押しつけるな」と方針の撤回を求めています。

ママたちの声

東部エリアでは津田幼稚園を廃
止し田口山を残すと言いますが、
とても通えません。津田は本当に
良い幼稚園で下の子も入れたいと
思っているのに、廃園なんて納得
できません。
(他の幼稚園からも多くの怒りの
声が寄せられています。)



みなさんの声 をお聞かせください

左から広瀬・石村・つつみ議員

日本共産党枚方市会議員団
http://www.jcp-hirakata.com
Eメール hirakata-jcp@salsa.ocn.ne.jp



引き続き安心・安全な給食の 早期実施を求めています！

この間、保護者のみなさんから「中学校給食の早期実施を求める請願」がだされるなど、中学校給食を求める声が広がっています。

わたしたちも請願の紹介議員になり、また何度も議会で取り上げるなど実現に取り組んできました。

市は平成28年度をめぐりに市の共同調理場で調理した給食を希望者に提供する方針をやっと示しました。

安全でおいしい中学校給食を早期に直営で実施するよう引き続き求めています。



放射線から子どもを守れ!!



「子どもたちを放射線内部被ばくから守りたい」という声が広がっています。大阪府教育委員会は、今年4月から「学校給食まるごと放射性物質検査」を行います。ところが枚方市は検査を実施しない方針です。日本共産党議員団は引き続き検査の実施を求めています。

放射線測定活動に参加

3月6日に市民団体が実施した市役所・市駅周辺の測定活動に参加しました。高いところで0.09、大ホール前で0.05でしたが、平均は0.08マイクロシーベルトで、大阪の平均的な値でした。

くらし最優先の市政運営を 「市駅周辺再整備」は市民参加で

私たちが一昨年実施した「市民アンケート」では医療費・社会保障の充実を望む声が圧倒的に多い結果でした。このような中でくらし・福祉最優先の市政の実現に取り組んできました。

一方で市民の皆さんから「市駅周辺はどうなるのか」という声も多く寄せられています。

市駅周辺については市民や事業者の声をしっかりと聞き検討すべきと求めています。

くらし・福祉最優先に予算を使うことを前提に、くらし応援・経済活性化につながる市駅再整備を市民のみなさんと一緒に検討することを求めています。



3・11から1年

日本共産党

災害から市民を守る防災対策を！

日本共産党は被災地支援とともに地域防災の充実と福井原発の事故にも備えた防災計画の見直しを求めています。

消防隊員の削減にストップをかけ、災害により迅速に対応できる消防の単独化を提案しています。

実現しました！

- すべての避難所に防災備蓄品の配備
- 各避難所に発電機
- 地域防災計画の見直し
- 住宅耐震助成充実
- 障がい者・災害時要援護者の福祉避難所実現へ



備蓄倉庫をチェック



削るべきは「民意」ではなく、 不公正・ムダな支出

議員定数2削減 34⇒32

反対！

議会改革特別委員会は、市議会議員報酬の6%カット、議員定数の削減（現行34→32）案などを3月議会に提案しました。

多様な民意を反映できない

枚方市の議員定数は大阪府内や同規模の市と比べても人口比で最も少ない状況です。

多様な市民の声を市政に反映することが議員の

役割です。定数削減は多角的な視点での検証・議論などのチェック機能を低下させることから定数削減には反対しました。

削減すべきは、特定団体への公金支出など不公正やムダです。

議員報酬カットには賛成しました。